【研究概要】

注意欠如多動症（ADHD）は不注意および多動・衝動性を中核症状とする神経発達症である。本邦では3種類の薬剤が第一選択薬として使用できるが、それぞれ作用機序が異なり、内服による症状の改善と脳機能の変化との関連はいまだ不明な点が多い。本研究では当科でADHDと診断し、薬剤治療を開始する患者を対象に、内服前後で脳波検査を行い、脳波解析により薬剤ごとの脳機能変化を明らかにすることを目指す。